

公民科現代社会

国際経済の動向

3年
授業者 熊谷 勇

■単元の目標

- 「国際経済の動向」のポイントを理解できる。
- 自学自習教材を用いて知識をより深化することができる。

■ICT活用の視点

○本時における ICT 機器の位置づけ

まず、全体講義としてプロジェクタを用いてプレゼンテーションソフトでの授業を行う。引き続いて、e-ラーニングシステムにて各自が復習をし、さらにe-ラーニングシステムでの問題演習を通して知識の定着をはかる。

■本時の授業の概要

本時は、コンピュータ教室において、生徒各々がe-ラーニングシステムを用いて学習するのがメインとなる。このシステムは、茨城県教育情報ネットワーク(IEI ネット)が提供する WebCT を活用するものである。各生徒は、それぞれに割り当ててある IEI ネットアカウントにログインして e-ラーニングシステムを使用することになる。授業前に、この WebCT に授業で使用するプレゼンソフトファイルや演習用問題を登録した。演習用問題については、WebCT 上のオンラインテスト機能を用いて作成した。このテストは生徒個人の成績管理ができるものである。プレゼンソフトファイルについては、ファイルを転送するのみで準備ができる。

実際の授業の展開は、まず講義形式で今時の授業單元となる経済分野について学習する。この時はまだ各々のパソコンは用いずにプロジェクタを見ながらの学習となる。次にパソコンを開いてインターネットにアクセスし、IEI ネットにログインして e-ラーニングシステムを始める。復習として掲載したプレゼンソフトファイルを見ながらノート整理して知識の定着をはかる。講義した内容そのものなので確認も容易と思われる。さらに WebCT 上でのオンラインテストをやってみる。これはセンター試験「現代社会」の過去問で、何度でも繰り返して学習できるので、よりたしかな知識・理解の確認や定着をはかることができる。

